



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 不二製油株式会社

上場取引所 東

コード番号 2607 URL <http://www.fujioil.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 清水 洋史

問合せ先責任者 (役職名) IR・広報部長

(氏名) 隈部 博史

TEL 072-463-1035

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	188,270	7.5	12,147	9.5	11,790	8.6	6,679	1.3
25年3月期第3四半期	175,133	△3.1	11,088	7.1	10,857	6.6	6,595	0.6

(注)包括利益 26年3月期第3四半期 12,184百万円 (64.2%) 25年3月期第3四半期 7,420百万円 (58.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	77.70	—
25年3月期第3四半期	76.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	204,067	131,366	61.0	1,448.43
25年3月期	197,142	121,534	58.5	1,342.25

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 124,507百万円 25年3月期 115,380百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	12.00	—	13.00	25.00
26年3月期	—	13.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	13.00	26.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	264,800	14.1	16,000	13.1	15,600	12.7	9,400	12.8	109.35

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結結果計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	87,569,383 株	25年3月期	87,569,383 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	1,609,212 株	25年3月期	1,609,010 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	85,960,300 株	25年3月期3Q	85,960,487 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値とは異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気動向・企業収益は回復の兆しが見られ、株価も堅調に推移いたしました。貿易収支赤字・デフレの長期化・雇用環境の低迷等が継続し、不安定な経済情勢が続きました。また海外では、米国経済の回復が見られたものの、新興国の経済成長の鈍化が継続し、国内外で不透明な経済情勢が続きました。

当社グループを取り巻く国内食品業界では、消費者の低価格志向は依然強く、円安による原料価格上昇を含め、厳しい事業環境が続きました。

この様な状況の中、当社グループは中期経営計画「Global & Quality 2013」を掲げ、「グローバル経営の推進」「技術経営の推進」「サステナブル経営の推進」を方針として、顧客ニーズに即した製品開発、高機能素材の供給、生産コストの削減に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高は1,882億70百万円（前年同期比7.5%増）、営業利益は121億47百万円（前年同期比9.5%増）、経常利益は117億90百万円（前年同期比8.6%増）、四半期純利益は66億79百万円（前年同期比1.3%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(油脂部門)

国内では、ヤシ油・パーム油・調合油・チョコレート用油脂の販売数量減少により減収となりましたが、コストダウンが寄与して増益となりました。

海外では、チョコレート用油脂は、欧米の販売数量の増加により増収となりました。同部門の海外は、円安による円換算額の増加も寄与して増収・増益となりました。

以上の結果、当部門の売上高は750億91百万円（前年同期比10.7%増）、セグメント利益（営業利益）は36億59百万円（前年同期比38.6%増）となりました。

(製菓・製パン素材部門)

国内では、業務用チョコレートは、洋生チョコの販売が減少しましたが、スイートチョコ・アイスコーティングチョコ・カラーチョコの販売が増加して、増収となりました。クリームは、デザート・飲料向けが好調に推移して増収となり、フィリングはパン用の販売が増加して、増収となりました。調製品では、乳製品価格上昇による販売価格上昇により、増収となりました。製菓・製パン素材部門の国内全体は、増収・増益となりました。

海外では、業務用チョコレート、クリームの東南アジアでの販売が好調に推移して増収・増益となりました。

以上の結果、当部門の売上高は834億円（前年同期比5.5%増）、セグメント利益（営業利益）は76億49百万円（前年同期比8.0%増）となりました。

(大豆たん白部門)

大豆たん白素材は、冷食・惣菜・健康食品・発酵培地用途が増加して増収となりましたが、円安による原料価格上昇の影響を受けて採算が悪化しました。大豆たん白機能剤は輸出・米飯用途が増加して、増収となりました。大豆たん白食品は、小売市場向けが減少しましたが、中国での販売が増加して増収となりました。大豆たん白部門は、全体では増収となりましたが、大豆たん白素材の採算悪化の影響により大きく減益となりました。

以上の結果、当部門の売上高は297億78百万円（前年同期比5.4%増）、セグメント利益（営業利益）は8億38百万円（前年同期比38.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ69億25百万円増加し、2,040億67百万円となりました。

主な資産の変動は、現金及び預金の減少65億37百万円、受取手形及び売掛金の増加97億92百万円、たな卸資産の増加25億38百万円、有形固定資産の増加1億30百万円、投資有価証券の増加7億24百万円です。

有利子負債（リース債務は除く）は、前連結会計年度末に比べ21億7百万円減少し、349億33百万円となりました。

主な純資産の変動は、剰余金の配当22億34百万円と四半期純利益66億79百万円により利益剰余金が44億44百万円増加したこと、その他の包括利益累計額の46億81百万円の増加等です。

この結果、自己資本比率は61.0%、1株当たり純資産は1,448円43銭となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ62億80百万円減少、前第3四半期連結累計期間末に比べ23億60百万円増加し、125億57百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で38億81百万円減少し、31億81百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益111億5百万円、減価償却費65億34百万円等による収入が、売上債権の増加額79億95百万円、仕入債務の減少額12億66百万円、たな卸資産の増加額4億2百万円、法人税等の支払額52億33百万円等の支出を上回ったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で6億56百万円支出が減少し、43億46百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出41億79百万円等があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で18億60百万円支出が増加し、60億35百万円の支出となりました。これは主に、短期借入金による資金調達額の純減少額26億61百万円、長期借入金の返済による支出8億70百万円、配当金の支払額22億34百万円による支出等があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月9日発表の通期業績予想は修正しておりません。今後の事業環境の変化を見極めた上で、見直しの必要がある場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,136	12,599
受取手形及び売掛金	46,964	56,756
商品及び製品	18,458	20,204
原材料及び貯蔵品	18,183	18,975
繰延税金資産	874	592
その他	3,318	3,636
貸倒引当金	△115	△142
流動資産合計	106,819	112,623
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	28,994	28,808
機械装置及び運搬具(純額)	27,332	27,593
土地	15,940	15,950
建設仮勘定	851	892
その他(純額)	1,189	1,195
有形固定資産合計	74,309	74,439
無形固定資産	1,530	1,474
投資その他の資産		
投資有価証券	11,851	12,575
繰延税金資産	186	276
その他	2,648	2,873
貸倒引当金	△204	△195
投資その他の資産合計	14,482	15,530
固定資産合計	90,322	91,444
資産合計	197,142	204,067

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,061	23,197
短期借入金	23,331	23,622
1年内償還予定の社債	20	20
未払法人税等	3,215	1,337
賞与引当金	1,760	1,054
役員賞与引当金	104	—
その他	6,163	7,008
流動負債合計	57,656	56,240
固定負債		
社債	5,020	5,010
長期借入金	8,668	6,280
繰延税金負債	1,129	2,027
退職給付引当金	2,281	2,301
役員退職慰労引当金	28	27
その他	822	813
固定負債合計	17,950	16,460
負債合計	75,607	72,701
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,208	13,208
資本剰余金	18,324	18,324
利益剰余金	88,905	93,349
自己株式	△1,746	△1,746
株主資本合計	118,692	123,136
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,781	3,607
繰延ヘッジ損益	565	429
為替換算調整勘定	△6,658	△2,666
その他の包括利益累計額合計	△3,311	1,370
少数株主持分	6,154	6,858
純資産合計	121,534	131,366
負債純資産合計	197,142	204,067

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	175,133	188,270
売上原価	141,669	151,834
売上総利益	33,463	36,435
販売費及び一般管理費	22,375	24,288
営業利益	11,088	12,147
営業外収益		
受取配当金	194	193
その他	196	392
営業外収益合計	390	585
営業外費用		
支払利息	383	356
持分法による投資損失	76	427
その他	161	158
営業外費用合計	621	942
経常利益	10,857	11,790
特別利益		
受取保険金	—	431
投資有価証券売却益	141	—
特別利益合計	141	431
特別損失		
固定資産処分損	45	76
減損損失	344	—
関係会社事業再構築損失	33	39
災害による損失	—	1,000
特別損失合計	423	1,116
税金等調整前四半期純利益	10,574	11,105
法人税、住民税及び事業税	3,436	3,376
法人税等調整額	261	735
法人税等合計	3,698	4,112
少数株主損益調整前四半期純利益	6,875	6,993
少数株主利益	280	313
四半期純利益	6,595	6,679

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,875	6,993
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	121	826
繰延ヘッジ損益	399	△135
為替換算調整勘定	30	4,451
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	49
その他の包括利益合計	544	5,191
四半期包括利益	7,420	12,184
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,126	11,361
少数株主に係る四半期包括利益	293	822

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,574	11,105
減価償却費	6,283	6,534
退職給付引当金の増減額(△は減少)	184	△15
受取利息及び受取配当金	△224	△269
支払利息	383	356
減損損失	344	—
売上債権の増減額(△は増加)	△6,493	△7,995
たな卸資産の増減額(△は増加)	295	△402
仕入債務の増減額(△は減少)	△136	△1,266
その他	△258	14
小計	10,953	8,059
利息及び配当金の受取額	223	271
利息の支払額	△388	△348
法人税等の支払額	△3,725	△5,233
保険金の受取額	—	431
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,062	3,181
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,392	△4,179
連結子会社の出資持分売却による収入	753	—
連結子会社株式取得による支出	△900	△4
関連会社株式取得による支出	△382	—
その他	△81	△163
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,002	△4,346
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	268	△2,661
長期借入れによる収入	1,660	—
長期借入金の返済による支出	△3,866	△870
社債の償還による支出	△10	△10
配当金の支払額	△2,063	△2,234
その他	△164	△258
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,175	△6,035
現金及び現金同等物に係る換算差額	△31	921
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,147	△6,280
現金及び現金同等物の期首残高	12,231	18,837
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	112	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,197	12,557

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び当社グループ(以下当社グループ)は油脂製品、製菓・製パン素材製品及び大豆たん白製品の製造販売を主として行っており、取り扱う製品群毎に国内外で事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、製品群を基礎とした事業別のセグメントから構成されており、「油脂」、「製菓・製パン素材」及び「大豆たん白」の3つを報告セグメントとしております。

「油脂」はヤシ油、パーム油及びパーム核油等を基礎原料とした精製油及びチョコレート用油脂等を製造販売しております。「製菓・製パン素材」はチョコレート、クリーム、ショートニング及び乳加工食品等を製造販売しております。「大豆たん白」は大豆たん白素材、大豆たん白食品及び豆乳等を製造販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	合計
	油脂	製菓・製 パン素材	大豆たん白	計		
売上高						
外部顧客への売上高	67,809	79,066	28,256	175,133	—	175,133
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,281	345	379	9,006	△9,006	—
計	76,090	79,412	28,636	184,139	△9,006	175,133
セグメント利益	2,640	7,080	1,366	11,088	—	11,088

(注) セグメント間取引消去によるものです。なお、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(参考資料)

所在地別セグメント

(単位:百万円)

	日本	アジア	米州	欧州	計	調整額	合計
売上高							
外部顧客に対する売上高	124,467	28,710	12,175	9,780	175,133	—	175,133
セグメント間の内部売上高 又は振替高	53	24,350	510	14	24,929	△24,929	—
計	124,521	53,060	12,685	9,794	200,062	△24,929	175,133
セグメント利益	9,159	1,664	52	365	11,242	△154	11,088

(注) 1 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度によっております。

- 2 各区分に属する主な国又は地域…アジア:シンガポール、マレーシア、中国、フィリピン、インドネシア、タイ
米州:米国
欧州:ベルギー

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び当社グループ(以下当社グループ)は油脂製品、製菓・製パン素材製品及び大豆たん白製品の製造販売を主として行っており、取り扱う製品群毎に国内外で事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、製品群を基礎とした事業別のセグメントから構成されており、「油脂」、「製菓・製パン素材」及び「大豆たん白」の3つを報告セグメントとしております。

「油脂」はヤシ油、パーム油及びパーム核油等を基礎原料とした精製油及びチョコレート用油脂等を製造販売しております。「製菓・製パン素材」はチョコレート、クリーム、ショートニング及び乳加工食品等を製造販売しております。「大豆たん白」は大豆たん白素材、大豆たん白食品及び豆乳等を製造販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	合計
	油脂	製菓・製 パン素材	大豆たん白	計		
売上高						
外部顧客への売上高	75,091	83,400	29,778	188,270	—	188,270
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,032	513	426	9,972	△9,972	—
計	84,123	83,913	30,205	198,242	△9,972	188,270
セグメント利益	3,659	7,649	838	12,147	—	12,147

(注) セグメント間取引消去によるものです。なお、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(参考資料)

所在地別セグメント

(単位:百万円)

	日本	アジア	米州	欧州	計	調整額	合計
売上高							
外部顧客に対する売上高	127,604	34,662	13,819	12,183	188,270	—	188,270
セグメント間の内部売上高 又は振替高	35	26,072	458	29	26,595	△26,595	—
計	127,639	60,735	14,277	12,213	214,865	△26,595	188,270
セグメント利益	9,049	2,626	219	461	12,357	△210	12,147

(注) 1 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度によっております。

- 2 各区分に属する主な国又は地域…アジア:シンガポール、マレーシア、中国、フィリピン、インドネシア、タイ
米州:米国
欧州:ベルギー